

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域でつなぐ防災力アップ	
事業主体 (連絡先)	生坂村 0263-69-3070	
事業区分	主となる区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
	関連する区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	☑ / ハード / ソフト・ハード (該当項目に○印を記入)	
総事業費	486,535円 (うち支援金: 363,000円)	

事業内容

(家具転倒防止実演講習会)

災害時自宅で被災しないための講演会を開き、正しい家具転倒防止の設置方法を受講した。その後防災力を高めるために次の取り組みを行った。



- 「自宅の防災講演会」を開催し、受講後、梅月地区と保育園保護者に家具転倒防止品など(3品)を配布する。「我が家」の防災をさぐっていく
- 配布物設置後アンケート調査(追跡調査)をする。調査結果を取りまとめ村側に提供・提案をする
- 梅月地区避難訓練
 - ・崩れた家屋の中からレスキューキッドやリヤカーを使って人名を救助する方法を学ぶ
 - ・日赤職員を招き、老人が避難所でどう過ごしたらいいかや最低限の準備品、注意点を学ぶ
- 干し芋作り・地域の方や中学生と一緒に交流し干し芋を作った
- 日赤病院に出向き、幼児安全講習会で怪我や事故の対応を保育士が学び、保護者に伝えた

事業効果

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

○避難所に避難する前に自宅での被災が多いことを講演会で知り、自宅の防災を見直すきっかけとなる。また、アンケート調査を行うことで、お年寄りだけのお宅は、自宅の防災に限りがあることがわかった反省会では梅月常会でサポートしていく必要があるという意見が出る。地域防災力を高めていく波及効果が出てきた。(回収率100%で関心は高い)

【目標・ねらい】

- 自宅の危険個所に気付く
- 地域全体で防災力を高めていく
- 家族構成での防災の違いをまとめて村側に提供する

○土砂災害を想定した救助の方法は、崩落しやすい場所(梅月地区)を想定し、レスキュー用品を使って怪我人を救助し、リヤカーで運ぶ方法など学んだ。組織構成を再確認した。

○アンケート結果から出た内容を取りまとめ、常会長と村長に届け出た。その結果、「村の中でも自主防災訓練内容に差がある」という意見から、区長会などで地区の情報交換をしていたらどうかなど提案した。

○日赤の「高齢者災害講習会」では高齢者の方が積極的に質問したり実習したりする姿がみられ、「ここに避難してくれば安心」と隣同士で話している様子うかがえた。

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【B】

- ・要援護者の救出救護の体制の整備と、初動マニュアルの充実を図り、地区民の誰が責任者(常会長)になっても対応できるように毎年繰り返し訓練をしていく
- ・これからも防災訓練を続けていきたいという地区民の意見から、更に防災力を高め村内にも発信していきたい